

絵画部 再建総会

5月21日、東京地本会議室にてJR東労組絵画部「再建総会」を開催しました。18春闘以降、活動が止まっていたが、1年半にわたり議論を継続し、再建することができました。会田部長から「新しい組織と人事賃金制度が提案されているが、会社はこれまで私たちをバラバラにする



ればいいのか？サークルとして、絵画部として、JR東労組として繋がり続ける事がそれに対する抵抗であると思うし、健全な鉄道会社への道だと信じている。みんなで盛り上げて、仲間を増やしていこう！」と力強い挨拶のもと議論を行い、新体制を確立しました。



JR東労組タオル新デザイン：秋田地本 清藤めぐみさん
※今後、タオルのデザイン切り替えを進めていきます。

また、再建直後に行われた本部大会にて展示を行い、本部サークル大会にて配布するタオルの新デザインを投票していただきました。その結果、秋田地本の清藤めぐみさんの作品に決定しました。絵画部は絵が描けなくても大丈夫です！鑑賞専門の方もお待ちしております！私たちとサークル活動を楽しみましょう！



山岳部 第32回総会

5月15日、JR東労組山岳部「第32回総会」を本部会議室にて開催しました。総会では、9月に開催される第31回登山大会（第25回韓日労働者交流登山大会）の議論を中心に行いました。今総会では新たに八王子地本から山口さんを幹事に迎えました。

9月28～29日に八幡平で行われる第31回登山大会は盛岡地本の準備で行います。多くの皆様の参加をお待ちしております！



卓球部 再建総会・卓球交流大会

5月30日、新木場 Bumb東京スポーツ文化館にてJR東労組卓球部「再建総会」および「卓球交流大会」を開催しました。全体で35名の仲間が結果し、卓球を通じて交流を深めることができました。

この間、本部卓球部は活動休止状態となっていました。12月4日の全日本卓球交流会をきっかけに、卓球を通じて横の繋がりを強化し、組織拡大に繋げていくことを目的とし、今回の総会を経て本部卓球部を再建することになりました。開会式では、八王子地本の山口さんより「被害者が加害者にされ

た！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」について語っていたが、事件の真実を広めることができました。参加者からは「久しぶりに卓球ができて楽しかった！」「普段卓球をする機会がないのでまた参加したい！」といった意見をいただきました。



軟式野球部

第30回JR東労組軟式野球大会

5月28～29日、秋田市・さがけ八橋球場にて「第30回JR東労組軟式野球大会」を開催しました。各地方から選手、審判、役員合わせて前回大会を大きく上回る115名の仲間が集まり8チームで白熱した試合を展開しました。澄み渡る晴天のもと、万全の体制で迎えてくれた秋田地本準備委員の皆さんのおかげで野球を楽しむことができました。

講演会では、「被害者が加害者にされた！JR東日本武蔵小金井駅暴行事件」について八王子地本のAさんご本人から講演

をいただきました。講演会には秋田地本の仲間をはじめとして大会参加者の枠を超えた仲間が結果し、真実を自らの声で職場内外へ広め共にたたかていくことを強く共有しました。

野球はチームワークがなくては成立しません。プレイヤーだけではなく、審判、応援、スコアラーなど野球が好きな方！JR東労組軟式野球部の野球を通じてこの感動を一緒に味わいましょう！



文芸部 第34回総会

6月29～30日、岩手県宮古市にて、JR東労組文芸部「第34回総会」を開催しました。1日目の総会では近藤部長より、新たに提案された会社施策に対する職場現状の報告や、総会の開催地である宮古のリアス式海岸の見所と歴史ある山田線について、また、東日本大震災以降の地域や鉄道の復興について語られました。また、重久中執から会社施策に対するの解説と、問題認識や組織拡大の重要性について挨拶をいただきました。参加者からは「会社に対して安全問題に危機感を覚える」「文芸部として総会開催地を見聞し、安全問題を含め、現地にきて初めて見えないところが見えてくる」と意見が出され、文芸部としての活動を通じて組織拡大をしていくことを参加者で確認してきました。

2日目は、龍泉洞や浄土ヶ浜を巡りました。また、東日本大震災で被害にあった田老地区を訪れ、自然の厳しさと防災について学んできました。文芸部は現場に立ち、感じたことを思いのままペンに込めて表現できる楽しい部です。文学散歩も企画しています。ぜひ多くの仲間の参加をお待ちしています！



写真部 第29回総会

JR東労組写真部は5月12日、本部会議室にて「第29回総会」を行い、組合員やOBの先輩方が結果しました。

冒頭、目時部長から、盛岡統括センターで発生した社員用駐車場有料化が一方的かつ突然実施された事実を踏まえつつ主催者挨拶を行った後、重久中執から「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」の提案内容について課題認識を受けました。

参加者からは、「提案の場で会社から発せられた『国鉄残滓の一扫』とは何事か！国鉄改革を否定された思いだ」「新幹線は列車分離が続き、地元ではJRはすぐに止まる」と言われているなど、会社姿勢に対する意見が多く出されました。また、エルダー職場の悪辣な労働条件が紹介さ

れ、プロパー社員の離職が多いことなどが課題として出されました。

鉄道が好きだからこそ出された多くの意見をもとに、秋の「第30回撮影会」に多くの参加者で結果し、組織強化・拡大をめざすことを確認しました。総会の翌日はオフショナルツアーとして千葉方面にてローカル線を中心とした写真撮影を行い、交流を図りました。

写真部は、一眼レフカメラ等の専門的なカメラがなくても参加できます。秋の撮影会には、多くの皆さんの参加をお待ちしています！

